

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名 <b>フリー・スタイル ラッシュ</b>	投球者 <b>徳江 和則</b>	センター <b>平和島スターボウル</b>
RG <b>2.600</b>	△RG <b>0.030</b>	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

テストボール：FREE STYLE RUSHE

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

番

テストボール：FREE STYLE

フレアーの幅  インチ

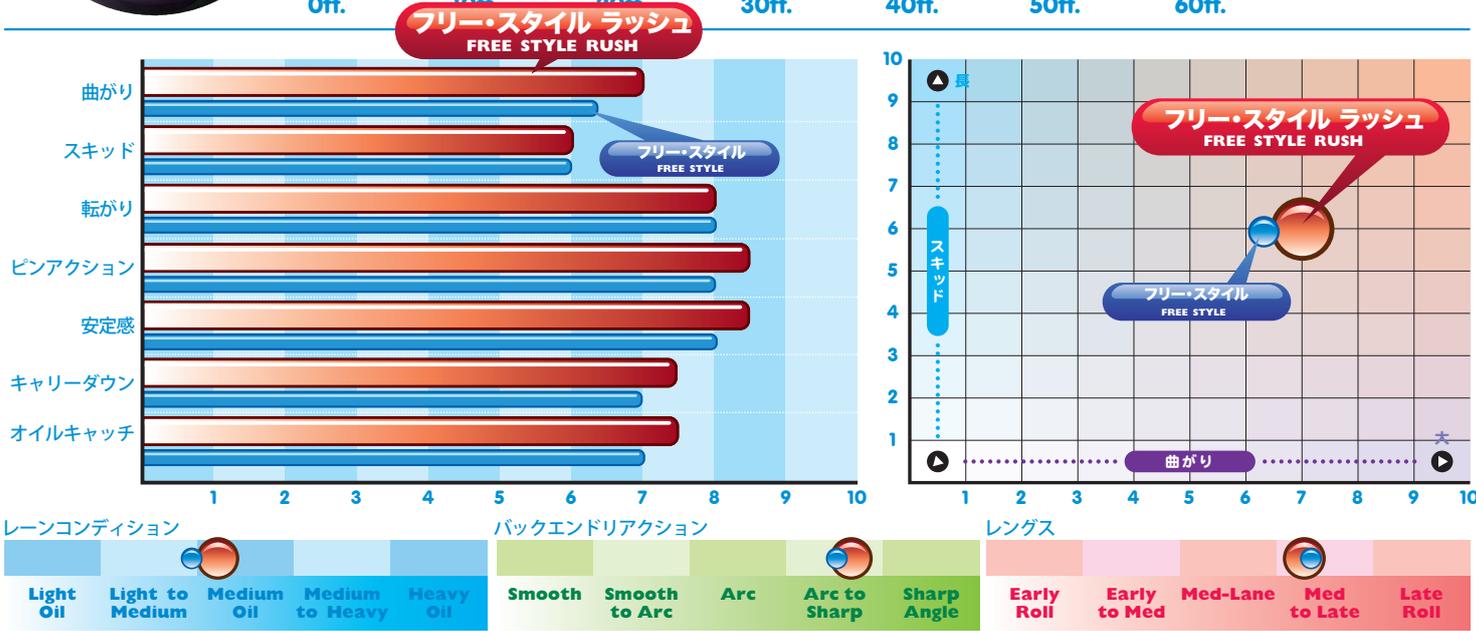
PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



### ボールの評価

MOTIV社のLIGHT OIL領域に新たにFreestyle Rushが加わりました。今回同時リリースでTANK RAMPAGEが加わり、LIGHT OIL領域は過激反応を抑制することのできる最新のウレタン素材TNAKと既存のFreestyleに新たにスキッド力が増したFreestyle Rushが加わったことで、さらにMOTIVボールだけで全レパートリーを組んで大会に参加する選手が増えることでしょう。今回はFreestyleと比較投球しながらFreestyle Rushの性能をみていきます。

まずFreestyle Rushだけを投球したイメージは「かなりスキッドは感じるが、先での向きの変り方が意外と強い」と感じました。前作Freestyleよりも曲がるのかなと思いつつながら実際Freestyleと比較投球すると、以外にもFreestyleのほうがやや早めの立ち上がりを感じ、曲り幅も大きかったです。全体的なオイル総量やドライゾーンでも反応などを検証するに、Freestyleよりもスキッドは長く、先での動きもシャープさを強調させている意図は読み取りました。その後スペック表との確認で、リポルトやジャッカルに代表される Turmoil™ LFP (Low Friction Pearl)とTAGやオクタンなどの走り系のAgility™ LFP (Low Friction Pearl) との差がFreestyleとFreestyle Rushにでているように感じます。ここでFreestyle Rushが加わることで、さらにディープなインサイドでも入射角が取れ、積極的にポケットへ向けてラインが取りやすくなることでしょう。

Freestyleよりもスキッドがあることから、現状このFreestyle RushがMOTIV社で一番曲りが少ないボールになりました。Freestyleをお持ちの方もFreestyle Rushを持ち、自分のレパートリーを組み替えてください。さらに対応領域と幅が広がることでしょう。

### 特記事項

**現行でMOTIV社で一番下のボールとしてFreestyle Rushが加わりました。スキッドさせることでエネルギーロスを最小限にとどめ、バックエンドまで動きを蓄えます。**